

# 生成AIの活用生活や仕事に

COLUMN  
県内  
大学発

## 経世済民

(845)

ChatGPTなどの生成人工能(AI)が注目されているが、生活を便利にし、仕事に役立たせるには、正しい知識と活用方法を知ることが求められる。生成AIは、自然言語系AI(口語で回答する)ChatGPTやBardと画像やイラストを作成するMidjourneyやStable Diffusionなどがある。この記事は、ChatGPTやBardについて記述する。

「ChatGPTやBardの情報は、いつのデータか?」ChatGPTは、2021年9月までのデータを使って回答する。Google Bardは学習したデータ以後の新しい情報はGoogle検索を通して取り入れて学習して回答します。Bardの方が、新しい情報が利用できる。ChatGPTも、Beingと組んで質問に関連したURLを表示するAIで、新しい情報に対応できる。

埼玉学園大 森 雅俊

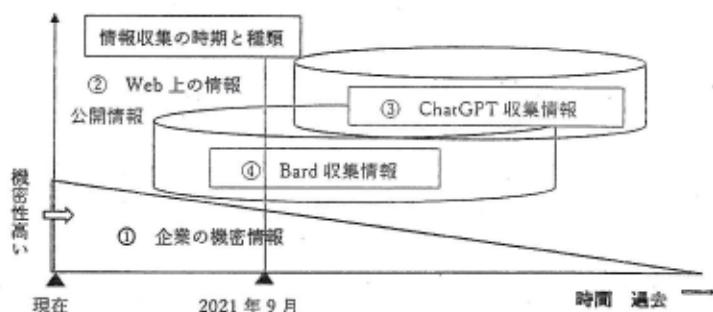
経済経営学部 教授



窓会「飲み会」の案内文作成ができる。③「法律相談」や「行政相談」④趣味としては、俳句も作れる「初夏の俳句を作つて」と頼むと「緑濃く、草木の息吹 初夏の風」「涼風に 揺れる葦の音 初夏の朝」と返事が来た。

「仕事に生かそう」ChatGPTやBardを仕事に使うことしたときに問題がある。それは、自社の情報を持っていないことだ。対応方法は、三つ方法があり、第1は、少ない情報量で、機密性が低い情報なら、入力時に生成AIに送って回答を得る方法がある。第2は、生成AIと契約を結んで、自社専用に生成AIを使う方法もある。会社などでは、ユーザーの質

もり・まさとし 2005年東京大学大学院 工学系研究科博士(工学)取得。日本IBMシステムエンジニア千葉工業大学教授を経て、21年4月より現職(経世済民学部データサイエンスコース教授)、専門は、AI・ICT教育



問を分類して、自社システムで答えるか、外部の生成AIを使って回答するかで分けて使用する方法がある。

図は、情報の種類と収集する時期を示している。企業の情報には、①機密情報と公開情報に分かれる。②公開情報はWeb検索で収集する。③ChatGPTは、2021年9月までの企業機密情報以外のWeb上にある情報を収集。④Google Bardは、現在に近い情報もGoogle検索よりデータを収集して、データベースに新しい情報を保存する。

「生成AIの課題と対策」①情報が正確でない場合がある②情報が最新ではない③情報漏洩と著作権侵害の可能性④社内情報が無い。といった課題があり、対策は、②については、Bardは、最新情報をGoogleから収集してデータベースに入れていく。ChatGPTとMicrosoftと組んで対応中である。④会社で使うには社内情報を生成AIと結合方法がある。